

# なめがわ 議会だより

第 116 号

発行  
滑川町議会  
平成 27 年 2 月 1 日

責任者  
議長 金井塚徳一  
編集

議会広報発行対策特別委員会  
比企郡滑川町福田750-1  
TEL 0493(56)2211  
FAX 0493(56)5522



ガンバッター（滑川町駅伝競走大会で）

## ◎12月定例会

- 新しいごみ処理施設整備のため『埼玉中部資源循環組合』設立される …… 3 P
- 議案審議 Q & A …… 4 P
- 月例給・期末・勤勉手当  
7年ぶりの引き上げ …… 5 P
- 一般質問 …… 6～15 P
- 編集後記 …… 16 P

# 第194回 12月定例会



平成26年12月定例会が11月28日より12月4日までの7日間の会期で開かれました。一般会計・特別会計予算、一部条例改正など、13議案が慎重審議の結果すべて原案どおり可決承認されました。

一般質問は、9名の議員がそれぞれ町の施策や考えを質しました。

## 定例会 会期日程

11月28日 本会議

- ・ 諸般の報告
- ・ 行政報告
- ・ 教育行政報告
- ・ 全議案の一括上程説明

金井塚議長

吉田町長

小澤教育長

## 議案審議

- ・ 議案第54号 専決処分承認を定めることについて
- ・ 議案第55号 滑川町一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第56号 町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第57号 滑川町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第58号 滑川町・小川町適応指導教室に関する事務の委託に関する規約の制定について



## 新しいごみ処理施設整備のため 『埼玉中部資源循環組合』設立 される

平成27年4月1日から、東松山市、桶川市、滑川町、嵐山町、小川町、吉見町、ときがわ町及び東秩父村の可燃ごみ及び粗大ごみの処理施設建設及び管理運営並びにこれに附帯する事務を共同処理するため『埼玉中部資源循環組合』の設立議案が可決されました。

新ごみ処理施設は、吉見町大串地区に予定されています。

新しい施設は、環境と安全を徹底的に配慮した施設として整備するとともに、構成市町村の循環型社会に向けた取り組みの中心的な役割を担う施設となります。

現在、地権者との用地交渉が進んでおり、平成33年度供用開始に向け、可燃ごみ処理施設と粗大ごみ処理施設の建設及び管理運営について、協議が具体的にはじまります。



吉見町大串地区の施設建設予定地

・ 議案第59号 埼玉中部資源循環組合の設立について  
・ 議案第60号 平成26年度滑川町一般会計補正予算(第5号)の議定について

・ 議案第61号 平成26年度滑川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の議定について

・ 議案第62号 平成26年度滑川町下水道事業特別会計補正予算(第2号)の議定について

・ 議案第63号 平成26年度滑川町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)の議定について

・ 議案第64号 平成26年度滑川町浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)の議定について

・ 議案第65号 平成26年度滑川町水道事業会計補正予算(第2号)の議定について

・ 議案第66号 平成26年度滑川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の議定について

12月1日

・ 一般質問(5名)

北堀議員

森田議員

井上議員

上野(憲)議員

伊東議員

12月2日 休会

12月3日

・ 一般質問(4名)

高坂議員

北村議員

上野(廣)議員

大山議員

# 議案審議 Q&A

## 衆議院選挙の準備は

**Q** 11月28日現在、ポスター掲示板ができていないが、12月2日の公示日まで間に合うのか。

**A** 解散と同時に準備を開始しないと間に合わない。すでに、掲示板は業者に発注済みであり、公示日まで間に合わせる。

## 適応指導教室の利用は

**Q** 不登校の児童生徒への適応指導教室の利用者数は。

**A** 現在の利用者はいない。昨年は1名である。利用後の不登校の解消は出来ているか。

**A** 卒業間近に、学校に登校出来る場合もある。担任と生徒が交流を深め、学校に戻るよう努力をしている。

## 埼玉中部資源循環組合の設立

**Q** 焼却施設建設予定地の、大串地区住民のなかに、反対者がいると聞いているが。

**A** 現在、協議会事務局、吉見町の農政課の方々が地域住民に個別訪問して、粘り強く協力していただけるように、事業を進めている。最終的には、ご理解いただけると思う。

**Q** 新しい焼却施設が完成した場合、速やかに既存設備の使用中止を申し合わせているのか。

**A** 現在稼働中の各市町村の既存施設について、新設備完成後使用中止について、協議していないが、すでに耐用年数を超えており、解体撤去することになると思う。

**Q** ちなみに、小川地区衛生組合の設備は、供用開始後38年で、耐用年数の30年を大きく超えている。

**A** 新しい組合で処理するごみの種類は、可燃ごみ、粗大ごみである。不燃ごみ、し尿処理は、小川地区衛生組合の施設で、継続していく予定である。

## 町民税の中で法人税の増額補正は

**Q** 法人税8000万円の増額補正の内容、予算計上の理由・根拠は。

**A** 滑川町内にある企業は概ね330社あり、主要法人50社の今年度の決算が確定してきて、予定納税額が1億円近く増加しているの、増額補正した。

特に、工業団地内の自動車関連会社の増額決算による。



## 文教厚生常任委員会報告（所管事務調査報告）

平成25年6月に、埼玉県内で最も新しいPFI方式で完成した「鶴ヶ島市学校給食センター」の施設見学を実施いたしました（平成26年11月18日）。

施設建設の経緯及び運営状況、食材の放射能測定の結果、食物アレルギーへの対応状況などの説明を受けた後、施設を見学し給食を試食させていただきました。

滑川町の給食方式は、業務委託方式ですが、地元食材の活用も可能なセンター方式や自校方式も将来検討する必要がありますと感じました。



# 月例給・期末・勤勉手当 7年ぶりの引き上げ

12月定例会で、8月の人事院勧告に基づいた職員給与の0.3%引き上げ並びに期末・勤勉手当の支給割合を0.15ヶ月引き上げる条例改正案が提出されました。

月例給は若年層に重点をおいた改定となり、民間給与との較差を考慮して審議の結果、全員賛成可決されました。

## 給与改定について

### 1. 給料表（平成26年4月1日適用）

1級 全号級    2級 68号級まで    3級 51号級まで    4級 43号級まで  
5級 35号級まで    6級 20号級まで

### ○ 一般職職員の期末・勤勉手当

※改定国家公務員俸給表行政職（一）を適用

平成26年度	6月期 (支給済み)	12月期 (改定)	合計
期末手当	1.225月 (変更なし)	1.375月 (変更なし)	2.60月
勤勉手当	0.675月 (変更なし)	0.675月⇒0.825月 (+0.15)	1.35月⇒1.50月 (+0.15)
計	1.90月	2.05月⇒2.20月 (+0.15月)	3.95月⇒4.10月 (+0.15月)
平成27年度	6月期	12月期	合計
期末手当	1.225月	1.375月	2.60月
勤勉手当	0.75月	0.75月	1.5月
計	1.975月	2.125月	4.10月

※町長、副町長、教育長、議員の期末手当

平成26年度	6月期 (支給済み)	12月期 (改定)	合計
期末手当	1.90月 (変更なし)	2.05月⇒2.20月 (+0.15月)	3.95月⇒4.10月 (+0.15月)
計	1.90月	2.05月⇒2.20月 (+0.15月)	3.95月⇒4.10月 (+0.15月)
平成27年度	6月期	12月期	合計
期末手当	1.975月	2.125月	4.10月
計	1.975月	2.125月	4.10月

# 町政と問う

## 一般質問

### 4 北堀 一廣……………P10

- 町道103号線改良工事進捗状況及び今後の展望は
- 鳥獣等による農作物への被害状況は

### 5 高坂 清二……………P11

- つきのわ駅前交番設置を
- 月輪地区の市街化調整区域の整備は

### 6 井上奈保子……………P12

- 認知症への対応できる地域社会づくりを
- 児童・生徒の不登校の解消は

### 7 上野 憲子……………P13

- 高齢者が安心して暮らせる町に
- 羽尾地内、カニ山・十三塚地域の土地区画整理事業の考え方は

### 8 大山 尚美……………P14

- 小型家電の回収リサイクルを
- 聴覚障がい者用、非常用パトライトの設置を
- ペットの適正飼育の啓発を

### 9 伊東 康夫……………P15

- 町道3046号線道路拡幅工事進捗状況は
- 集会所施設の移管は
- 平成27年度予算編成方針は

12月定例会では、9人の議員から※一般質問が行われ、町政全般について活発な議論が展開されました。質問と答弁の要約内容は7ページから15ページです。なお、全文記録（議事録）については、3月中に滑川町ホームページ（<http://www.town.namegawa.lg.jp>）に掲載しますのでご覧ください。

※一般質問＝議員が町の行財政にわたる執行状況や将来への方針等について所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点を質すこと。

### 1 森田 泰雄……………P7

- デマンド交通について
- 脱法ハーブについて

### 2 上野 廣……………P8

- 森林公園駅周辺の開発を
- 外来魚の防除は
- 婚活事業の推進を

### 3 北村 徳章……………P9

- 町内サービスの広報は
- 災害相互支援協定について
- 認知症等問題は



森田 泰雄 議員

## デマンド交通の導入を

# 道路運送法の立ちあげが必要

### デマンド交通システム

デマンド交通は滑川町独自に実行することは出来ない。「道路運送法」(昭和26年法律第183号)において、会議を立ち上げる必要がある。交通会議の構成員は次の通りである。

- ① 滑川町長が指名する者
- ② 一般乗合旅客自動車運送事業者。一般貸切(乗用)旅客自動車。一般社団法人埼玉県バス協会及び一般社団法人埼玉県乗合自動車協会

③ 埼玉運輸支局長又はその指名する者。

④ 住民又は利用者の代表。

⑤ 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体

⑥ 道路管理者、埼玉県警察、学識経験者、その他町長が必要と認める者

以上の者をもって「滑川町地域公共交通会議」を立ち上げないとデマンド交通の打合せは出来ない。



鳩山町デマンド交通システム

**問** デマンド交通については、これから高齢者が多くまた免許を返納する人が多くなり、週2回の無料バスではカバー出来なくなる時代が来る。

現在、社会福祉協議会において有料ボランティアを実施しているが、何時までも有料で運行する事は出来ない。近隣の市町村では既に、「地域公共交通会議」を立ち上げて実施している。

当町でも「滑川町地域公共交通会議」を立ち上げて検討してはどうか。

**答** 現在、社会福祉協議会で「地域ささえあい事業」の移動支援を行っているが、今後デマンド交通について検討していく。



ときがわデマンド交通&バス

### 脱法ハーブについて

最近、使用者の交通事故が頻発している。

危険ドラッグに軽い気持ちで手を出して、抜け出せなくなる事が多く問題が顕在化している。

中学・高校生は、危険ドラッグを合法ハーブと名を変えて販売している事を信じて買う可能性がある。

**問** 合法ハーブと言っても危険ドラッグに変わりにない。

国としても摘発に懸命だが検査が追いつかない。

広報やあらゆる機会を使って危険であることをPRし、特に中学・高校生の場合家族の監視が必要である。

滑川町から違法者が出ないようにして頂きたい。

**答** 町内あらゆる方法でPRし、滑川町から違法者を出さないように努力する。

# 外来魚の防除は

## 生物多様性保護団体を活用



上野 廣 議員



森林公園駅のメガソーラー建設現場

### 森林公園駅周辺の開発を

**問** 森林公園駅は滑川町の玄関口で、駅南の「みなみ野地区の区画整理」以後、大きな変化はない。しかし、最近、操車場南に東武がメガソーラー設置事業を計画したり、都地区などに住宅建設が増加している。

そのような変化の中で、以下の項目についてうかがう。

① 東武所有未利用地の活用  
の動きは。

② 森林公園駅から1〜2キロ圏内の開発についての構想は。

**答** ① 東武鉄道は森林公園駅周辺に、操車場を含め約20haの土地を所有している。平成9年に完成した「み

なみ野土地区画整理」地内に1.4ha所有し、一部駐車場に貸しているが、ほとんど更地になっている。店舗の計画はあったが、現在は、東武自身での活用予定はない。本土地の条件にあった土地利用ができる企業があれば、売却も考えていくとのことである。

② 森林公園駅周辺の開発は、滑川町の将来にとって、大変重要である。東松山市都市計画道路「市の川通線」の延長が旧深松線から糠ヶ谷戸を通過して表前、平から嵐山に抜ける幹線道路の計画もあり、区画整理事業の範囲は、カニ山、十三塚、糠ヶ谷戸、両家も含めて検討する必要がある。詳細は、滑川町第5次総合振興計画の中で、検討していく。

### 外来魚の防除は

**問** 2005年6月1日「特定外来生物法」が施行されている。滑川町では、川やため池のミヤコタナゴ、クチボソ、オイカワなどの在来魚へ悪影響を及ぼすオオクチバス、コグチバス、ブルーギルの防除についての規制は充分ではない。

今後、ミヤコタナゴの住める町づくりを目指す滑川町としては、これらの外来魚を防除する必要がある。町の考えをうかがう。

**答** 昭和63年から平成2年にかけて、ミヤコタナゴに関係して、町内231箇所、河川やため池の魚類調査をした時オオクチバス、ブルーギルを確認している。埼玉県で

は、生物多様性保護団体を募集し、活動団体に補助金を交付、県内92団体が登録している。本年7月には、埼玉県生態系保護協会東松山・鳩山・滑川支部が設立され、生物多様性保護活動が推進されている。今後は、これらの団体を広域的に活用し、推進していく。

### 婚活事業の推進を

**問** 前議会的一般質問（紫藤議員）で、婚活問題についての質問に対し、「町長の公約でもあり、未婚の男女が多い時代、人口減少の歯止めとして行政として婚活対策を推進していきたい」という答弁があった。男女の出会いの機会が少ない時代、婚活活動の経験豊富なNPOなどを活用すれば、コストミニマムで実施できると考える。

**答** 現下の検討状況と今後の方針は。役場内で、担当課を早急に決め、平成27年4月までに活動を開始する。方針としては、婚活推進員を募集し、婚活が成立したら報償費の支払いも検討する。町議会議員、農業委員などの皆さんにも、積極的に婚活推進委員に応募していただきたい。





北村 徳章 議員

## 町内サービスの広報は

## ホームページへの掲載準備をする

### 町内サービスの広報は

**問** 毎年、国や県からの補助金などが出ている中、町民に直接的にかかわるような各種補助金や助成金は、各課全体としてどの様なものが何件ほど用意され、補助金総額のうち町民がどの程度の金額を利用しているのか。

**答** 直接的に係る補助金は20件ほどあると思う。

また国や県から頂いている補助金額全体としては25年度決算で約10億円程（間接的な

各担当課で資料を用意し、ホームページへの掲載準備をしていきたいと考えている。

### 要望

早急に対応して、町民への有益な情報を伝えて頂きたい。

### 災害相互支援協定について

**問** 滑川町は、宮城県松島町、富山県上市町との協定を締結しており、今後は岐阜県笠松町との災害時応援協定締結に向けて準備がされていると思うが、どこまで詳細に取り決めをしているのか。また、同じものが重複して届くことは無いのか。

**答** 各自自治体とも協定内容は同じで、①食料・飲料・生活物資等の備蓄用物資の提供、②医療防災資機材・発電機・車両等の応援対策用の資機材の提供又は貸与、③被災者一時収容の為の施設の提供、④応急活動に必要な職員の派遣となっているが、ただし相手の自治体から要請された場合に実施となっている。よって、同じものが重複して届くことはありえない。

### 認知症等問題は

### 問

町としてオレンジプラン等の対応もしていると思いますが、認知症の種類は数種類ある中でもピック病（前頭側頭葉変性症）は他の認知症よりも症例も少なく、40代から50代をピークに発症する病で、社会的な地位を失うような事故や犯罪も報告されている。

症状としては、性格や行動がガラリと変わり、本人も悪いと分かっていても、行動がコントロール出来ずにやってしまうといった奇異な行動をとったりと、若いうちの発症

で症例数が少ないなどのことから診断も難しく、周りからも理解されづらい状況である。

家族も認知症診断受診を言いつらいと思うので、町として検診の中で認知症診断の機会をつくる考えは。

**答** 検診項目の中で、今後取り入れていけるかどうか、協議、検討していく。

### 要望

認知症患者も急増している。若年層の認知症による事故や事件もあるので、率先した町の対応をお願いする。



笠松町との相互支援協定調印式



北堀 一廣 議員

# 町道103号線改良工事の進捗と今後は

## 平成29年度の完成をめざす

### 町道103号線の進捗は

**問** 一日も早い完成を地元住民はもとより、多くの町民の方々が待ち望んでいる。これまでの進捗状況と今後の展望について見解をうかがう。

**答** 「社会資本整備総合交付金事業」の採択を受けて改良工事を実施しているところである。工事の進捗については、嵐山町行政界付近から伊古山田地域まで約400mの区間の改良工事を行っている。

**問** 町道103号線の改良工事が国の補助事業によって進められていると聞くことであるが、いつ頃完成するのか、また今後どのように進めていくのか。

**答** 平成25年度から工事を着手して平成29年度まで

5ヶ年での完成をめざし事業を進めている。また今後補助金とのかねあいもあるが、出来る限り早期に完成出来るよう努力する。

**問** 平成27年度はどのあたりから工事に入るのか、また工事内容が分かればうかがいたい。

**答** 「伊古の里」周辺から嵐山方面に向かって工事を進めて行く。工事内容については道路側溝の敷設、歩車道境界工、車道路盤工、歩道路盤工の施工を予定している。

### 鳥獣等による農作物への被害状況は

**問** 近年野山の荒廃が急激に進み人間と動物との住み分けが崩壊し、獣等が田畑や民家周辺にまで出没するようになり、野菜、果物、米麦に被害がでてきているようであるが、今年を含め過去数年の被害状況をうかがう。

**答** 25年度被害面積63アール、金額84万8000円、26年度11月末まで、405アール、金額227万円である。

**問** 有害獣の駆除捕獲数は

**答** 過去3年間の駆除、捕獲数206匹である。イノシシ、アライグマ、ハクビシンなど。

**問** 被害をこれ以上拡大させないためにも、駆除、捕獲、防除を更に推進する必要があるのではないかと。

**答** イノシシ用大型箱罠11ヶ所、くくり罠10ヶ所、中型罠個人を含めると約100個、又防除にも貸し出し用電気柵が町内15セット用意してある。

今後も出没状況を確認し積極的に対応する。



町道103号線（伊古山田線）



イノシシ用箱わな



高坂 清二 議員

## つきのわ駅前交番の設置を

# 交番設置要望は今後 も続けていく

### つきのわ駅前交番の設置を

**問** 町には防犯拠点として  
森林公園駅前交番、福田  
駐在所がある。

つきのわ駅周辺には月の輪  
小学校、滑川総合高校があ  
る。新たに、つきのわ駅前交  
番の設置が必要です。平成14  
年3月25日「つきのわ駅」開  
業にあわせ駅北口に用地が確  
保されている。埼玉県につき  
のわ駅前交番の設置を要望し  
てからすでに10年が経過して  
いる。

交番はいつ設置されるの  
か、不安を感じている月の輪  
の皆さんは多いと思う。この  
設置予定についてうかがう。

**答** 県の方針として、平成  
15年度から交番の設置は  
凍結している。いつ凍結が解  
除されるのかわからないが、  
交番設置要望は今後も続けて  
行く。

**問** 凍結が解除されるま  
で、応急的な安全対策が  
必要である。

月の輪駅前広場は南北に6  
台の駐車スペースがある。

朝夕の一时的な駐車により  
駅利用者、周辺の住民の皆さ  
んにも安心感をあたえらと思  
う。町の考えをうかがう。

**答** 警察と協議していく。

**要望** 周辺住民が安心で  
きるよう「パトカー  
待機場所」として路面標示を  
実施してほしい。

### 月輪地区の市街化調整区域 の整備

**問** 滑川村国土利用計画に  
より昭和45年に市街化区  
域及び市街化調整区域が決定  
された。その翌年には市野川  
を境に、北は農業振興地域、  
南は市街化区域と市街化調整  
区域(白地)に分かれている。  
市街化区域についてはほとん  
どが整備され、農業振興地域に  
おいても圃場整備によって整  
備されている。

一方、市街化調整区域の農  
地(白地)については町の予  
算もほとんど投入されず、昭  
和初期の状態のままで現在に  
至っている。町からも忘れら  
れた地域の一つである。この  
(白地)の再生に向けて、町  
ではどのように考えているの  
かがうかがう。

**答** 地域に密着した生活道  
路の整備事業で対応し、  
地元の皆さんの要望を参考に  
実施を検討したい。



つきのわ駅



市街化調整区域の農地



井上 奈保子 議員

# 認知症への対応できる地域社会づくりを

## 「滑川町高齢者見守りネットワーク機関」で対応

認知症への対応できる地域社会づくりを

**問** 我が国に於いては世界の中でも急速に高齢化が進み認知症有病者の高齢者と800万人を超える状況である。それに伴い徘徊による行方不明者が増え、探すのが困難という。

**答** 町でのその手立ては。防災無線やメール送信等で情報提供し、最終的には「埼玉県認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク」を利用し、早期発見に努めている。

**問** 新潟県内の某町では、町と町民の連携で行方不明者の捜索訓練を普段から行い効果を上げていると聞いているが、町での実施の考えは。

**答** 実際の体験が効果的、有効的な手段だと思おうのでその方向で考えたい。

**問** 町の包括支援センターや社会福祉協議会等で行っている「見守りネットワーク」事業の方法と予防は。

**答** 滑川町高齢者見守りネットワーク機関（16機関）が、配食サービス、地域支え合い事業等を通じての見守り確認、及び認知症予防・介護予防教室にて「頭の体操教室」、専門医による相談事業、認知症サポーター養成講座も開くなど予防している。

**要望** 認知症の人が暮らせる「定住の地」を作るためには認知症を当たり前に受け入れる住民の存在が欠かせないと言われている。住民への啓蒙・理解を深めてほしい。

**児童・生徒の不登校解消は**  
**問** 減少や横ばいだった不登校の児童・生徒の割合が6年ぶりに増えて来た。小学校は2万4175人、中学校は9万5442人と増加している。  
当町の状況とその要因及びその対応は。

**答** 26年11月迄で小学生1名、中学生6名。要因は人間関係による問題や無気力、情緒的混乱等である。教職員・家庭・教育相談主任との連携を密にし、個々の対応を図っている。

**問** 「小一プロブレム」、「中一ギャップ」の解消は。  
**答** 小一問題では園児が小学校入学後スムーズに学校生活なじめるよう、園と小学校が協力し合い、色々な場面で交流をし、円滑な接続を目指している。

中一問題では、Jプラン（小・中学校教員間の両校への人事交流）、生徒指導加配、学校公開、新入生の学級編成の工夫、町内生徒指導連絡会議等で取り組んでいる。



配布されているパンフレット





上野 憲子 議員

## 医療・介護の連携は

## 「地域包括ケアシステム」の構築が重要

高齢者が安心して暮らせる町に

**問** 「医療・介護総合確保推進法」の主な施策は、

「要支援者を保険制度の枠外に」や「診療報酬改正で病床削減」など。本質は、入院患者を早期に「在宅」にもどす一方、「要支援者」「軽度者」への在宅サービスの後退させ、施設入所も今以上に限定させるものとなってきてしまうものである。現在、町で介護認定を受けている方の人数は。

**答** 要支援1から要介護5

までの総数は、536名（平成26年8月末時点）であり、前年度比4・9%の増加となっている。

**問** 認定者で介護保険サービスを利用している方の割合は。

**答** 要支援1から要介護5までで81%の方が何かしらのサービスを利用されている。

**問** 今後、要支援の方が介護サービス以外の「地

域支援事業」に新たなメニューを設け、市町村の裁量任せとなるが。

**答** 平成29年4月の移行に向け、その受け皿となるための環境やボランティア等の人材の確保等の体制整備を進めていく。

**問** 国のすすめる在宅化の中では、医療と介護の連携が必要不可欠で、国の責任で医療、介護給付費の抑制施策を転換させることが必要と考えるが。

**答** 介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを維持するため、在宅医療、在宅介護を切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築が重要と考える。

羽尾地内、カニ山、十三塚地域の土地区画整理事業の考え方は

**問** 町長選挙時の公約の一つにカニ山・十三塚地域の土地区画整理事業の考えが示された。内容は。

**答** 道路や下水道の整備を一体とした計画的なまちづくりを進めていくためには区画整理事業による市街地整備が最も効果的であると考え

**問** 平成16年7月に「市街化調整区域」に逆線引きになった場所と認識しているが。

**答** 町の総合振興計画に位置づけ、地権者をはじめこの地域の住民の皆さんに理解を得て事業を展開していく考えである。



町民との相談に応じる職員



大山 尚美 議員

# 小型家電のリサイクルを

## 現在のステーション型 ピックアップ方式で

### 小型家電の回収リサイクルを

**問** 平成25年4月に施行さ

れ、回収体制を整備して  
いる自治体が増えているが、  
一方市町村の許可を受けてい  
ない業者が回収することも絶  
えない。有用な金属を海外に  
持ち出すことも問題になって  
いる。貴重な資源に対する町  
の今後の取り組みをうかが  
う。

**答** 町では現在、ステー

ション型ピックアップ方  
式を行っている。金属類の日  
に回収している。

**問** どういう種類が多い

か。  
**答** 扇風機やドライヤー  
等、家庭家電である。

**問** 許可を受けていない業  
者の回収や不法投棄はあ  
るか。

**答** 業者はないが、町民が  
収集日以外に出すことが  
あるので、環境パトロールが  
回収にあたっている。

**問** 携帯やPCなどの貴重

な小型家電の回収を、役  
場入り口などに回収ボックス  
を置いてみてはどうか。

**答** 今後、町民の要望があ  
れば検討する。

### 聴覚障がい者用、非常用 パトライトの設置を

**問** 防災ベルが鳴ったとき、

聴覚障がい者が、視覚で  
判断できるパトライト（回転  
灯）があり、防災ベルと連動  
するものである。町役場や公  
共施設に設置の考えは。

**答** 町内の38名の聴覚障が

い者のうち、パトライト  
設置している世帯は一世帯2  
名である。現在は、公共施設  
設置の予定は考えていない。

**問** 民間の温泉入浴施設等  
では補聴器をつけている  
人も多い。そういう施設にパ  
トライト設置の指導は。

**答** 状況を聞き、指導を  
行っていきたい。

### ペットの適正飼育の啓発を

**問** ペットブームにより、

動物を飼育する世帯も増  
えている。埼玉のお年寄りの  
寝たがり率の低さの理由にも  
ペットがあげられている。

一方、小動物の虐待や、命  
をあつかうとは思えない投棄  
などが報道されている。人と  
動物の共生を目指す意味にお  
いても、動物フォーラムやセ  
ミナーなどで適正飼育を啓発  
する機会を持つべきと考える  
が町の考えは。

**答** 町内でペットとして飼

われている犬の登録は  
1225頭です。不法投棄や  
虐待通報はない。ペットだつ  
た犬の殺処分は9月まで2頭  
あった。今後HP等でペット  
の適正飼育啓発をしていく。



小型家電



伊東 康夫 議員

# 町道3046号線 拡幅工事の進捗状況は

## 平成26年度中に 説明会を開催

道路拡幅で安全・安心な  
町づくりを

**問** 町道3046号線道路は非常に狭く、生活道路としては、大変不便である。対向車とすれ違いも出来ない。地元住民にとって、生活・消防道路として重要な道路である。

過日、不幸にして物置を全焼する火災が発生した。大型消防自動車(水槽付ポンプ車)が入口近くで立往生してしまい、消火活動の遅れから近隣

家屋への類焼の恐れで肝を冷やした。

地元住民が安全・安心な生活が出来るように、早期に拡幅工事への対応を求める。

**答** 上福田区長より、5名の署名で要望書が提出された。現地調査を実施した。起点から終点まで570m、幅員3〜4mである。

地主20名の皆様に年明けの26年度中に、説明会を実施するよう進める。



町道3046号線 (上福田地内)

### 集会所施設の移管は

**問** 集会所施設を地域に移管する。今後は自由に利用できるとあるがいつからか。

**答** 3月定例議会に議案を提出する、4月1日より自由に個人に貸すことができる。例えば選挙事務所としても利用可、学習塾に貸すこともできる。

**問** 確実に4月から移管できるのか。

**答** 火災保険加入の問題があるが、相当分を町から補助金として出したいと考えている。



町内の集会所

### 予算編成方針は

**問** 平成27年度予算編成方針では、何を第一優先に予算編成に取り組むのか。

**答** 平成27年度予算編成方針や第4次総合振興計画に基づき福祉・教育・環境・平和・健康づくりの5本の柱を中心に安全で安心なまちづ

くり推進のための諸施策に取り組む。

第一優先は、健康づくり事業、幼稚園・小・中学校の空調設備等借上、宮前小学校プレハブ教室等整備事業、学校給食費の無償化、こども医療費の支給、農業基盤整備の推進、町道103号線道路改良工事等である。



# 本年もよろしくお願ひ申し上げます



## 七つの祝い

平成26年11月8日(土)

コミュニティセンターにて、園児178名と保護者が出席して行われました。



## 笠松町・滑川町 災害時相互応援 協定書調印式

平成26年12月17日(水)

場所 笠松町町立中学校体育館  
(岐阜県)

双方の議会側と行政側とが出席し、執り行われました。



## 成人式

平成27年1月11日(日)



## 議会を傍聴してみませんか。

3月定例会では、主に平成27年度予算を中心に審議します。ぜひ、傍聴にお越しください。  
3月3日(火)開会予定です。

## 編集後記

新年を迎え、町民の皆さまにはお健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年末に突然の衆議院解散と選挙があり、新たな内閣が誕生しました。様々な懸念や期待を含みながらの年明けに、幸多かれと祈らずにはいられません。

昨年は例年にならない気象現象がいくつもありました。地球規模での気候変動の中に生きる町民が不安のない生活を築くためにも旧態依然を改めた発想や思考が求められてくると思います。

本年は、統一選挙の年でもあります。滑川町議会も刷新を計り、住民ニーズに応えるべく、若々しい気が溢れる議会を目指したいものです。

3月は現職最後の議会です。多くの皆さんに傍聴に来ていただき、ご意見、ご感想をお願いいたします。立春とはいえ厳しい寒さが続きます。皆さまくれぐれもご自愛いただきますようお願い申し上げます。

(紫藤)